

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

(第3種郵便物認可)

J Aグループ茨城職員60人

食の検定試験に挑戦

【茨城・常陸】JAグループ茨城の職員60人が、食の検定協会の「食の検定（食農3級）試験」にチャレンジする。JAグループがこれだけまとまって受験するのは全国で初めてという。事務局の県営農業支援センターも、資格取得に意欲的な職員に試験制度の説明や学習のポイントなどのアドバイスをしている。

JAは食農教育を地域が求められている。その「と自然環境とのかかわり」とらえた知識と推進役と
内て積極的に進めること」ためJA職員には食や農「なく、食と農を横断的に」しての技能習得が必要

だ。

「食農3級」資格の取得はJAグループ茨城が推奨。地域の食育推進役を担う職員を育成していく。試験は6月22日、水戸市下開井町の県農村研修館で行われる。

同センターの海野雅文審査役は「今回のチャレンジを通してJAに食育推進役を多く育成し、目に見える食育を地域内で積極的に進めていくことを期待したい」と話す。